



MLP ウィークリー

2018年4月第3週号(2018年4月17日発行)

2018年4月13日時点

(1週間前=4月6日、前月末=3月末、前四半期末=3月末、前年末=2017年12月末)

なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比+3.7%と3週連続での上昇となりました。4月9日(月)は、米国株式市場、原油価格ともに反発したものの、MLPは小幅続落しました。しかしながら、10日(火)は、習近平中国国家主席が講演で、市場開放策や関税引き下げなどの方針を表明したことを受け、米中貿易摩擦激化への懸念が後退したことから、世界的に株価や原油価格が続伸し、S&P MLP指数は前週末比+3.2%と週の中で最も大きく上昇しました。11日(水)は、トランプ米大統領がシリアへの軍事行動に近いことを強く示唆したことを受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから米国株式市場は下落したものの、原油価格が大きく上昇する中、MLPは続伸しました。12日(木)は、利食い売りなどに押されMLPは反落しました。13日(金)は、米国株式市場が銀行株を中心に反落する中、MLPも小幅続落して週末を迎えました。

■主要指標の動き

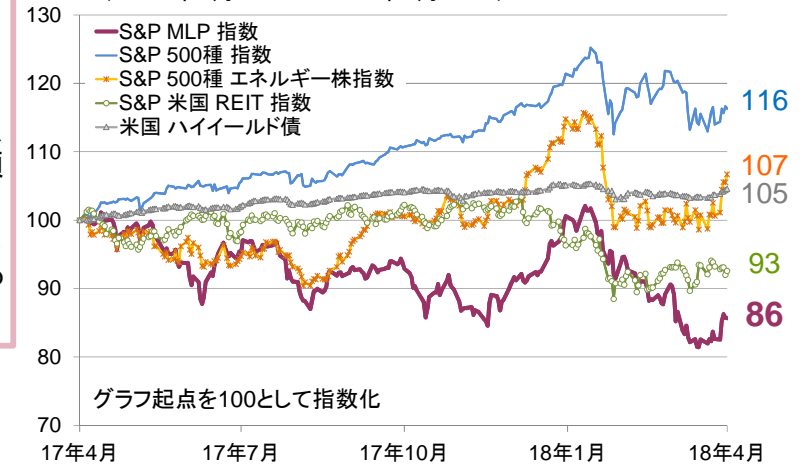
* 過去1年(2017年4月13日~2018年4月13日)

	指数値	騰落率				過去1年*	
		2018/4/13	週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,244.64	3.7%	3.8%	3.8%	-7.4%	5,058.67	4,034.79
プライスリターン	1,409.61	3.7%	3.8%	3.8%	-9.1%	1,789.03	1,339.92
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
	5,207.57	2.0%	0.7%	0.7%	-0.1%	5,606.08	4,477.07
プライスリターン	2,656.30	2.0%	0.6%	0.6%	-0.6%	2,872.87	2,328.95
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	921.57	6.0%	5.9%	5.9%	-0.3%	999.26	780.85
プライスリターン	527.75	6.0%	5.9%	5.9%	-1.1%	576.52	454.52
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,126.87	-0.7%	-0.8%	-0.8%	-8.9%	1,258.73	1,077.00
プライスリターン	282.18	-0.7%	-1.0%	-1.0%	-10.0%	322.87	272.52
米国ハイイールド債(ICE BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,264.99	0.8%	1.1%	1.1%	0.2%	1,274.02	1,209.10
プライスリターン	77.02	0.7%	0.9%	0.9%	-1.5%	79.30	76.21
米国10年国債利回り	2.82%	0.05	0.09	0.09	0.42	2.95%	2.04%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	67.39	8.6%	3.8%	3.8%	11.5%	67.39	42.53
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり	2.74	1.3%	0.1%	0.1%	-7.4%	3.63	2.55
米ドル(対円)	107.35	0.4%	1.0%	1.0%	-4.7%	114.29	104.73

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

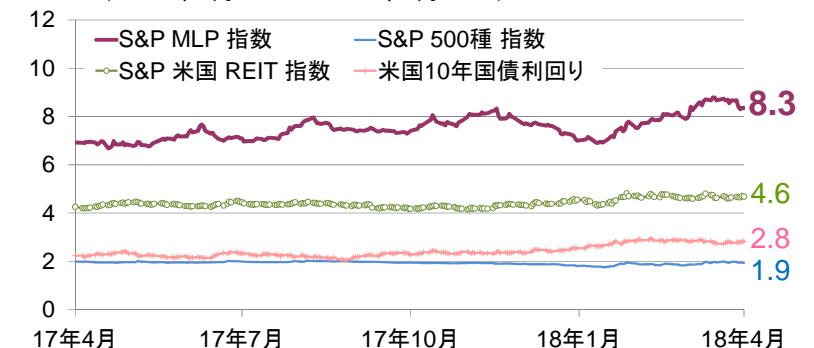
■過去1年の指数の推移(米ドルベース/トータルリターン)

(2017年4月13日~2018年4月13日)



■各資産の利回り

(%) (2017年4月13日~2018年4月13日)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。